

2011.06.24

平成 23 年度野菜茶業課題別研究会 開催計画
「地方伝統野菜の現状と将来展望」

開催時期：平成 23 年 10 月 27 日（火）午後～28 日（水）午前

開催場所：愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

目的（趣旨）：

比較的環境変異の大きい日本では、固有の伝統野菜が各地域に存在している。それらは地域内の特定の食文化、環境下で選抜されてきたため独自の発展を遂げてきたが、大量生産・大量供給の容易な F₁ 品種の普及などにより急速に衰退している。近年、伝統野菜は地域経済の担い手の一つとして見直され、また育種材料としても注目されている。そこで、地方に存在する伝統野菜の現状について整理し、将来展望について明らかにする。

議事日程

第 1 日目（10 月 27 日）

12:30～12:40 開会挨拶

12:40～14:40 **全体会議 I** 座長 農研機構 野菜茶業研究所 吉田建実

地方伝統野菜の歴史と文化

元 野菜茶業研究所 菅野紹雄 12:40～13:10

近年の地方伝統野菜の見直しとその時代背景

山形大学農学部 江頭宏昌 13:10～13:40

京野菜の技術的発展と地域振興

京都府立大学 藤目幸擴 13:40～14:10

14:10～14:30 休憩

14:30～17:00 **全体会議 II** 座長 農研機構 野菜茶業研究所 松元 哲

秋田県における地方伝統野菜の取り組み

秋田県農業試験場 椿 信一 14:30～15:00

加賀野菜のこれから

(有)松下種苗店 松下 良 15:00～15:30

江戸東京野菜について

江戸東京伝統野菜研究会代表 大竹道茂 15:30～16:00

沖縄県の伝統野菜

沖縄県立農業大学校 坂本守章 16:00～16:30

17:00～18:00 地方伝統野菜品種紹介 司会 中原採種場(株) 石松 亮

第2日目 (10月28日)

09:00～11:10

第1会場：遺伝資源としての地方伝統野菜 座長 農研機構 野菜茶業研究所 石田正彦

地方伝統野菜保全のための系統の取扱いと、採種システム

アグリビジネスコンサルタント 菅原眞治 09:00～09:30

地方伝統野菜の遺伝資源としての利用価値など

元 岐阜県農総研センター 高田宗男 09:30～10:00

10:00～10:10 休憩

カラシ菜の博多伝統野菜と新規野菜

中原採種場株式会社 諸岡 謙 10:10～10:40

広島菜への根こぶ病抵抗性の導入

広島県立総合技術研究所 前田光裕 10:40～11:10

11:10～11:40 総合討論

11:40～11:50 閉会挨拶

09:00～11:10

第2会場：地方伝統野菜の利用と普及について 座長 みかど協和(株) 山口義一

市場流通の変化の中での地方伝統野菜の役割

元 長岡中央青果 鈴木圭介 09:00～09:30

F₁大和マナ品種（‘夏なら菜’・‘冬なら菜’）の育成と普及

奈良県農総センター 浅尾浩史 09:30～10:00

10:00～10:10 休憩

血圧上昇を抑える中島菜

石川県農総研センター 三輪章志 10:10～10:40

地方伝統野菜としてのカキチシャ

山口県農試 片川 聖 10:40～11:10

11:10～11:40 総合討論

11:40～11:50 閉会挨拶